

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

3月31日はMFやビーンズなどの締切でした。
参加された皆様は投稿お疲れ様でした。

そして今月は10日の電撃大賞を皮切りに、月末のえんため大賞、えんためガールズ、富士見ラノベ文芸などなど、非常にたくさんの締切が控えています。

投稿される予定の皆様は、張り切っていきましょう。
自分も可能なら改稿作をえんためガールズに出したいと思っています。

さてさて。
続いては月頭恒例の、パブー版の紹介です。

【らくだ図書館 (63)】
<http://p.booklog.jp/book/114004>

毎月続けているパブー版の配信も、おかげ様で63冊目を迎えました。

ちなみにこのブログですが、想像以上に老若男女さまざまな方が見てくださっているようで、書き手として非常に嬉しいと同時に身が引き締まる感覚です。

実際はなかなか更新できない日もありますが、楽しい投稿ネタを皆様にお届けできるよう、これからも出来る範囲で頑張っていきたいです。

というわけで。
新年度一発目ということで、今回は割と真面目な話でした。

6年目を迎えた「らくだ図書館」を、これからもよろしく願います。

こんにちは、らくだです。

今日は時間に余裕があったので、3月24日に発表されたMFJの1次通過リストを見ながら、平均年齢を計算してみました。

ふはははは！

暇人と呼んでくれ！

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/#third>

- ・ 応募総数 452 作品
- ・ 1次通過数 182 作品
- ・ 1次通過率 約 40 %
- ・ 最低年齢 16 歳
- ・ 最高年齢 52 歳
- ・ 平均年齢 27.35 歳

というわけで。

平均年齢は 27 歳でしたが、最高年齢は 52 歳で、40 代の通過者さんも多数。

直接的な面識こそないですが、自分と同年代やそれ以上の方々が頑張っていると思うと、大きな励みになりますよね。

ちなみに第7回GA文庫大賞では、60代の投稿者もいたという情報が。

小説投稿を長らく続けていると、「自分はもう歳だから……」なんて思って若い投稿者さんに嫉妬しがちですが、夢を追うのに年齢を気にする必要はないんだと改めて思い知らされた気分です。

以上、今回は MF 通過者の平均年齢の話題でした。

こんにちは、らくだです。

電撃の締切まで残り一週間ですが、追い込みの皆様は頑張ってください。

ちなみに自分は不参加なので、修羅場な TL を高みの見物です。

(いや、低みですね……)

さてさて。

アルク翻訳コンテスト 2016 の結果が、公式ホームページで発表されています。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://www.alc.co.jp/translator/article/tobira/contest2016.html>

さっそく講評と訳例を読んできました。

プロはそう訳すのか〜と目からウロコです。

それと、技術的なアドバイスも役に立ちましたが、今回の講評で特に心に残ったのは以下の部分。

「腕を磨くには、たくさん読んで、たくさん訳すこと。そして愉しむことです。愉しくないことは長続きしませんから」

これを執筆に当てはめると、大切なのは「たくさん書くこと、そして愉しむこと」という感じでしょうか。

改めて言葉にすると当たり前のようですが、結果が出ないと焦りや苛立ちばかりが募って、愉しむことを忘れてしまいがちになりますからね。

もちろんツライ瞬間はゼロではないですが、そんな中でも楽しいという根本の気持ちは忘れないよう、自分の心に余裕を持ちたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

すでに公式サイトなどで告知が出ていますが、角川ビーンズ小説大賞が、カクヨムから応募できるようになりました。

詳しくは下記ページをご覧ください。

【応募要項（ビーンズ公式サイト）】

<http://shoten.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

【応募要項（カクヨム公式ブログ）】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2017/04/04/190954>

<投稿方法>

1. 郵送応募
2. ウェブ応募
3. カクヨムから応募

というわけで。

完全なカクヨム移行ではなく、これまで通り、郵送やウェブ応募も可能です。

一番手軽なのはカクヨムからの応募だと思いますが、ネット公開に抵抗がある人も一定数いるでしょうし、投稿者側で応募方法を選べるのは嬉しいですね。

それから今回の変更に伴って、今まで枚数指定だった規定文量が、「10万字～15万字」の字数指定になっています。

表紙や投稿者欄に書く数字も、枚数ではなく字数になりました。

非常に細かい変化ではありますが、うっかり「原稿枚数 110 枚」なんて書かないように、応募要項は隅々まで念入りにチェックしたいところです。

こんにちは、らくだです。

3月末が締切だったビーンズですが、読者審査員の募集が始まりました。

詳細は下記リンクへ。

次回の応募要項の下に読者審査員の件が載っています。

【新人賞告知ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

<応募条件>

- ・ ビーンズ文庫が大好きな方
- ・ 守秘義務を守っていただける方
- ・ ご自宅に原稿送付が可能な方
- ・ 応募締切 2017年5月31日(水)
- ・ 読者選考期間 2017年7月上旬～8月上旬までの約1か月
- ・ 審査員に選出された場合のみ、6月中旬に編集部より直接連絡

ビーンズ大賞の読者審査員の募集は、例年だと5月開始なんですけど、今年は締切直後に始まりましたね。

ひょっとすると発表スケジュールが前倒しになるんでしょうか？

まあ前倒しにならなかったとしても、次回からカクヨム応募が始まるので、応募数は大幅に増える気がします。

(何しろタグを付けるだけで参加可能)

とにかく今回はビーンズの、読者審査員募集の話題でした。

書き手として参加した方は応募できませんが、読み手として賞を盛り上げたい皆様は、要項をチェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

第 187 回コバルト短編小説新人賞の結果が発表されました。

今回は入選作品が 1 本、最終が 3 本という結果に。

それぞれの本文と選評は、下記ページで確認できます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no187/>

今回一番気になったのは、『お人形ごっこ』の選評の、行空きに関する注意。

内容を要約すると、

- ・行空きをたくさん使うのはオススメできない
- ・理由は「場面が変わったのかな？」と混乱するから
- ・安易に行空きを多用するより、描写の仕方で工夫して欲しい

確かにその通りですよ。

自分もこの指摘には同意です。

ただ選評にもある通り、ウェブ小説では行を空けるのは結構普通で、あった方が読みやすい場合も多いので難しいなあ……と。

このブログもそうです。

もし行空きがなかったら、読みづらくなると思います。

なので理想としては、行空きなしで場面を描写する力を磨きつつ、ウェブ小説など状況によっては読みやすさを考慮して行を空ける……という感じでしょうか。

とにかく一番大切なのは、「読者が快適に読めること」だと思うので、文章を書く際は改めて気を付けたいと感じました。

コバルトイラスト大賞の発表- 2017.04.07 Fri

こんにちは、らくだです。

最近ようやく暖かくなってきましたね。

いわゆる季節の変わり目ですが、体調には注意したいところです。

さてさて。

第 62 回コバルトイラスト大賞の結果が発表されました。

今回は入選 1 名、佳作 8 名、もう一步 17 名が選出された模様。

小説ではなくイラストの賞ですが、コバルト関連の話題ということで、発表ページを紹介しておきます。

【第 62 回コバルトイラスト大賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_prize_62/

自分自身ウェブコバルトは結構まめにチェックしますが、作品のラインナップをよーく見ていると、過去の入選者が扉絵を担当しているケースが結構あります。

そういう意味でもイラスト大賞は、デビューに直結する賞なんだなあと。

小説とイラストで土俵こそ違いますが、受賞者が実際にそのレーベルで活躍している姿を見ると、投稿者としては励みになりますよね。

(いつか自分も……みたいな)

というわけで。

コバルトの作品ラインナップは、今後もチェックしたいと思います。

以上、今回はコバルトイラスト大賞の発表の話題でした。

祝・Web マガジン Cobalt 開設 1 周年！

というわけでコバルトのウェブ化から 1 年が経ちました。
この 1 年間の出来事を振り返る特集ページも公開されています。

ってかまだ 1 年だったんですね……（汗）
自分自身が頻繁に見ているせいか、もう 3 年くらい経ったような気が。

何はともあれリンクはこちら。
過去の投稿企画の応募数なども掲載されています。

【1 周年記念特集ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/wmc_anniversary/

<投稿企画の応募数>

- 1 位 260 通 編集（て）のあらすじ大賞
- 2 位 125 通 桑原水菜プロデュース!!
- 3 位 96 通 ホラー好き編集 H が独断と偏見で決めるホラー小説新人賞
- 4 位 48 通 文房具小説賞
- 5 位 46 通 あなたの考えたダジャレにいのうえさきこが絵をつけます大賞

ちなみに自分が面白いと感じたのは、冒頭が提示されて続きを自由に書く形式だった、2 位の桑原水菜プロデュース企画。

冒頭がきっちり指定されているからこそ、それをどう解釈して続きを書くのか、作者の個性が光る企画だったと思います。

そんなこんなの、ウェブコバルト。
今後どんな投稿企画を開催するのか、引き続きチェックしていきたいです。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの人気連載、「小説を書くためのプチアドバイス」が、先週金曜に更新されました。

最近コバルトの話題ばかりですが、ともかくリンクを紹介しておきます。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/001223/>

今回のテーマは、三人称について。

三人称の基本事項から始まり、さらには「単一視点」と「多視点（神視点）」の違いについて、詳しい説明が載っています。

人称や視点は大事な問題ですが、執筆中は、そこまで意識しないですからね。
慣れてしまうと特にそうなるので、この機会に再確認するのもいいかと。

ちなみに自分の場合、一人称と三人称どちらが好きということもなく、今までに書いた作品数も確認したらちょうど半々でした。

ただし上位まで行けた作品はどれも三人称という……。
一人称だと作者の変人っぷりが滲み出るのかもしれない……。

とにかくコバルトは、投稿者を応援するような企画がたくさんあるので、何よりもそこが好き。

このプチアドバイスの連載企画も、今のところ2か月に1回程度の頻度で更新されているので、次回もまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

今日は電撃大賞の締切です。

追い込み中の皆様は頑張ってください。

今回自分は参加しませんが、過去の応募数はこの通り。

記念回だった第 20 回をピークに、そこから少しずつ減っています。

- ・ 第 16 回 (2009 年) 4,602 本
- ・ 第 17 回 (2010 年) 4,842 本
- ・ 第 18 回 (2011 年) 5,293 本
- ・ 第 19 回 (2012 年) 6,078 本
- ・ 第 20 回 (2013 年) 6,554 本
- ・ 第 21 回 (2014 年) 5,055 本
- ・ 第 22 回 (2015 年) 4,580 本
- ・ 第 23 回 (2016 年) 4,878 本

しかし周囲の投稿者さんの情報によると、今回ウェブ応募の受付番号が、すでに 8,000 に届きそうな勢いだとか。

ちょっと待って……。

電撃どうしちゃったの……。

果たして今年の応募数が 8,000 なのか、ウェブ応募開始時からのカウント（去年の数を含む）なのか、詳しいことは今の段階では不明です。

ただし相当多いのは間違いなさそう。

応募総数は毎年 6 月に発表される場合が多いので、今年は一体どうなってしまうのか、ドキドキしつつ公式からの情報を待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

昨年小説家になろうで開催された、「文学フリマ短編小説賞」が、今年もまた実施される模様です。

特設サイトは5月15日（月）公開らしいですが、それに先駆け、なろうブログで応募要項が発表されました。

【文学フリマ短編小説賞 2017】

<http://blog.syosetu.com/?itemid=2598>

- ・ 未出版作品
- ・ オリジナル作品
- ・ 4万文字以下の作品
- ・ 応募期間は「5/15～6/14」予定
- ・ 複数作品応募可能（ただし受賞は1人1作品のみ）
- ・ 応募期間内に作品を新規投稿すること（掲載済み作品の応募は×）
- ・ 前回あった【「異世界転生」「異世界転移」の要素なし】の条件は撤廃

前回の同賞もそうでしたが、受賞作は小説家になろう発行の短編集に掲載され、文学フリマで販売されま

す。
(ちなみに冊子は一般書店非流通)

(つまり受賞しても商業作家になれるわけではない)

とはいえ前回は盛況だったようですし、こうして第2回の開催が決定したということは、企画側もそれだけ手応えを感じたのかと。

受賞してもプロになれないのは残念ですが、逆に「同人誌だからこそ表現できること」もあると思いますし、皆様チェックしてみてもいいのではないでしょうか。

こんにちは、らくだです。

今年2月より、小説投稿サイトのカクヨムに、グーグルアナリティクス（GA）を設置することが可能になりました。

とはいえ GA はとっても複雑。

素人がいきなり登録しても、正直チンプンカンプンです。

そんな悩めるユーザーのために、カクヨム公式ブログが、解説記事をアップしてくれました。

[【カクヨムユーザー必見！ Web 小説における Google Analytics の使い方】](#)

これは非常にありがたいですね。

どの項目をチェックすべきか、ポイントが凝縮されています。

ところで自分は、このブログには GA を置いてますが、カクヨムに設置しようとは思わないかな……。

だってだって！

最近ずっとアクセス数0なんだもん！

この状況でわざわざ GA を置いても、何も解析できないっていうね（涙）

まあそれは自分の作品が悪いからであって、ちゃんと活用すれば、すごく便利な執筆のお供になると思います。

ちなみに今回は基本編でしたが、好評なら応用編も載せてくれるようなので、今後の更新に期待したいです。

こんにちは、らくだです。

集英社ライトノベル新人賞（秋）ですが、しばらくチェックしていない間に、3次と4次の結果が更新されていました。

なにせ自分が1次落ちだったからね……。
ショックで公式サイトを見てなかったのさ……。

それはさておきリンクはこちら。
4次の結果は先週4月5日に更新された模様です。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx6thAward/result.html>

- ・ 応募総数 508 本
- ・ 1次通過 124 本（約 24 %）
- ・ 2次通過 24 本（約 5 %）
- ・ 3次通過 8 本（約 2 %）
- ・ 4次通過 2 本（約 0.4 %）

お名前のあった皆様はおめでとうございます。
4次通過の現段階でもう2本なので、通過者さんは受賞しそうですね。

それから集英社つながりの話題ですが、コバルトノベル大賞の1次結果は、明日4月14日（金）に更新される模様。

（ソースは先週のコバルト公式ブログ）

てっきり下旬と思っていたのに予想よりも早くてビックリ。
というわけで今回はノベル1次発表の話題をお届けしようと思います。

皆様こんにちは！

ノベル大賞 1 次落ちの常木らくせんです！

いや、泣いてはない、泣いてはないぞ……。

というわけでノベルの 1 次発表がありました。

応募総数は不明ですが 1 次通過の数は 273 本です。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

おい通過した奴ら！

お前らなんかこのまま受賞しちまいな！

(謎のツンデレ)

ちなみに通過リストは都道府県順。

同じ都道府県の中では五十音順になっているようです。

しかしアレですよ。

今回も複数通過の方が大勢いらっしゃるようで。

本当にもう、1 人で 3 本や 4 本も通過している投稿者さんを見ると、「1 本わけてくれませんかね (泣)」と思わずにられません。

それから公式サイトにある通り、今後の予定は 2 次発表 (5 月) ⇒ 3 次発表 (6 月) ⇒ 4 次発表 (7 月) で、毎月順番に更新されていく模様。

自分は早くも戦線離脱しましたが、この中からどの作品が受賞するのか、経過を見守っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ノベルの落選報告を書いた後、「励ましのメッセージ来てるかな？」と思って編集画面をチェックしたら、届いたコメントはこの一通。

いつの間にか「常木らくせん」に改名されたのですね。名は体を表すと言いますが、確かにぴったりですね！次に落ちたら「常にらくせん」に改名ですか？（本日は笑顔で煽りにきました）

やめてー！

らくだのライフはもうゼロよー！

というわけで。

励ましどころか死体蹴りのコメントが届いたという。

（まあ「らくせん」ネタ持ち出したの自分ですけど……）

さてさて。

妙な前置きが長くなりましたが、アイリスの2次発表がありました。

1次通過は12本で、2次通過は8本です。

応募総数や通過率などは不明ですが、通った皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.ichijinsha.co.jp/iris/nga5_2/

このペースだと来月か再来月には最終発表がありそうですね。

8本のうちどの作品が受賞するのか、サイトの更新を待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた、「けものフレンズ川柳&SS コンテスト」が、無事に締切を迎えました。

カクヨム公式ブログによると、応募総数はなんと 1,078 作品。

すごーい！

たっくさんあつまったんだね！

[【「けものフレンズ川柳&SS コンテスト」作品応募受付を終了しました】](#)

ちなみに内訳は、

- ・ショートストーリー 711 本
- ・川柳 368 本

あれ……？

合計が 1,078 にならないよ……？

それはともかくショートストーリーの多さにビックリです。

川柳の方が字数的に手軽だから、応募が多いと思ったんですけど。

まあ SS を書きたくなるくらい、人気の作品ということですね。

それにしても、今回これだけ盛り上がったわけですし、他の作品でもこういう企画が出ないかなーと。

2 次創作のコンテストって、通常の賞とは一味違った楽しさがありますし、次へ続いて欲しいと思います。

こんにちは、らくだです。

最近すっかり暖かくなってきました。
日によってはもう暑さを感じるくらいです。

さてさて。

第 11 回 HJ 文庫大賞の最終結果が公開されました。

発表ページは以下。
受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/novelawards/award11.html>

- ・ 応募総数 547 作品
- ・ 1 次通過 121 作品 (約 22 %)
- ・ 2 次通過 42 作品 (約 7.7 %)
- ・ 3 次通過 24 作品 (約 4.4 %)
- ・ 受賞 6 作品 (約 1 %)

今回選評を読んでいて気になったフレーズは、大賞作品に対する、「期待を裏切らずに予想を覆す」という言葉。

これってすごく重要ですよ。
まあ言葉で言うのは簡単でも、実際書くのは難しいんですが。

何しろ自分の場合は真逆というか、「期待を裏切る上に展開が予想できる作品」ばかり書いているので、注意しなければと感じています。

以上、今回は HJ 最終発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

近ごろ投稿以外の日常生活で色々あって、ブログの更新が遅れがちですが、少しずつ取り戻していきたいと思います。

さて本題。

少し前に第 187 回コバルト短編の結果発表がありました。もう一步の作品リストに、間違っ「第 188 回」の結果が掲載されてしまったそうです。

現在は修正が完了し正しいリストが載っている模様。

というわけで。

以前このブログでも紹介しましたが、改めて正しいリンクを載せておきます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no187/>

なお今回の件で間違っていたのは、もう一步の作品リストだけで、入選作や選評は変わりありません。

いや、それにしても……。

こういう事件が発生するということはつまり、第 187 回の結果が発表される頃には、第 188 回の選考が済んでいるって意味ですね。

まあその辺の詳しい事情は知る由もないですが、発表に飢えたハイエナワナビとしては、選考過程や行程は非常に気になってしまいます。

とにかく今回はコバルト短編の結果修正の話題でした。

こんにちは、らくだです。

富士見ラノベ文芸大賞の締切が月末に迫っています。
それに伴い公式サイトに投稿の注意事項がアップされました。

【投稿の注意事項】

<https://www.fantasiataisho.com/news/#n491>

最近はおよそ半分の賞でウェブ応募ができるので、締切時間ギリギリまで推敲するケースも多いと思いますが、アップロード作業は意外と時間を食うものです。

うっかり作業中に 23:59 を過ぎてしまって、不幸なシンデレラにならないためにも、余裕をもって締切を迎えたいものですね。

(自戒の意味も込めて……)

あといつも迷うのが応募歴。

さすがに投稿 8 年目にもなってくると、書き切れないうらい応募歴があります。
まあ通過歴は応募歴より少ないですが、何をどれだけ書くべきかは迷うところ。

ちなみに注意事項には、

「富士見ラノベ文芸大賞の投稿歴、現在選考中の賞がある場合は具体的に記入してください」

と書いてあるので、少なくとも該当レーベルの過去の結果と、あとは現在選考中の賞を書いておけばいいのかなと。

他にも色々な注意事項が載っているので、ラノベ文芸に応募予定の方はもちろんですが、そうでない皆様もチェックしてみてもいいかもしれません。

こんにちは、らくだです。

富士見ファンタジア大賞（後期）の1次結果が更新されました。

発表ページはこちら。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php

- ・ 応募総数 509 本
- ・ 1次通過 119 本
- ・ 通過率 約 23 %

今回気になった面白いタイトルは『アクロバット相撲少女うららちゃん』。

相撲少女って何やねん！

どんな話が気に入り過ぎるわ！

しかも作者の筆名が『ラノベ新人賞落選界の白鵬』という強烈なインパクト。

いやでもこうやって、周囲を楽しませようとする姿勢は、創作者として尊敬すべきものがあるんじゃないかと。

自分の失敗を面白く人に伝えるって、心に余裕がないとできませんからね。

そういう前向きな姿勢や心の余裕は、自分も常に持ちたいと思っています。

というわけで。

勝手に話題にして申しわけないですが、この方には絶対に通過して欲しい次第。

ちなみに2次発表は5月末らしいので、結果の更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

つい先日 2 次発表のあった、「第 5 回 New-Generation アイリス少女小説大賞」ですが、早くも最終結果が出ました。

今回選出されたのは銅賞が 1 本。

受賞された作者様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/nga05/final/index.html>

- ・ 1 次通過 12 本
- ・ 2 次通過 8 本
- ・ 受賞 1 本

選評を読んだ限り、受賞作が直接出版されることはないようですが、担当編集者さんとこれから新作の刊行を目指していく模様です。

アイリスは NEO もあわせれば、毎月 4 冊くらいのペースで新刊が出ているので、いつになるのか楽しみです。

なお全体の傾向としては、

- ・ 読み手が好む展開ではない
- ・ 作者が好きな題材に終始している印象が強い
- ・ 流行を取り入れ過ぎてオリジナリティを感じるのが難しい

こういった作品が多かったみたいです。

自分はアイリスに応募していませんが、上記の指摘は心当たりがありまくりなので、改めて気を付けたいなと思いました。

こんにちは、らくだです。

第13回 MF 文庫 J ライトノベル新人賞、第3期の最終結果が発表されました。

今回選出されたのは佳作が2本。

入選された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/#sedond>

- ・ 応募総数 452 本
- ・ 1次通過 182 本 (約40%)
- ・ 2次通過 30 本 (約7%)
- ・ 3次通過 3 本 (約0.7%)
- ・ 受賞 2 本 (約0.4%)

というわけで。

1次選考の通過率はやや高めでしたが、2次以降は非常に激戦だった様子です。

ところで選評を読んだのですが、その中に「ケレン味溢れる設定」という言葉があって、何のこっちゃ？となりました。

で、調べてわかったんですが、ケレン味って「外連味」のことなんですね。

実際は漢字の方がむしろ当て字で、カタカナで書くのが一般的だとか。

そうとは知らなかったよ……。

ていうか何故か「ヘレン・ケラー味」を想像したし……。

とにかくまあそんなわけで(?)、選評の内容自体はもちろんですが、言葉の上でも一つ賢くなりました。

こんにちは、らくだです。

第6回集英社ライトノベル新人賞の結果が発表されました。

いやはや。

近ごろ最終発表ラッシュですね。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx6thAward/award.html>

- ・ 応募総数 508 本
- ・ 1次通過 124 本 (約 24%)
- ・ 2次通過 24 本 (約 5%)
- ・ 3次通過 8 本 (約 2%)
- ・ 4次通過 2 本 (約 0.4%)
- ・ 受賞 1 本 (約 0.2%)

あれ？

受賞者さんの年齢、なんか変じゃない？

1988年生まれで34歳って計算合わないような気が。

ひょっとすると1983年の誤植でしょうか。

あとあらすじを読んだところ、今回の受賞作は女性が主人公。

かつての受賞作には『銀盤カレイドスコープ』がありますが、あれも女の子が主役だったし、集英社ラノベは女性主人公をあまり敬遠しない感じですよ。

まあそれは受賞レベルに面白いことが前提であって、1次落ちの自分はまだもっと根本的な部分が問題だと思うので、次こそは通過できるようにレベルアップしたいです。

こんにちは、らくだです。

ここ最近ブログの更新が途絶えてましたが、ようやく余裕ができたので、遅れ分をまとめてアップしている次第です。

正直やめたくなる時も結構ありますが、「文章を書いて人に読んでもらうこと」が自分の一番の喜びなので、そう考えるとやめられないという。

まあ自分も幸せで、読者の皆様にも楽しんでもらえるなら、Win-Win ですよ。

さて本題。

第 22 回スニーカー大賞（秋締切）の 3 次発表がありました。

3 次を突破したのは 8 作品。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

2 次通過していた『涼宮ハルヒになりたかった女の子の話』がないのは残念。

話の内容自体も非常に気になりますが、どのくらい既存作を取り入れて平気なのか、そういう意味でも読みたかった作品です。

なお最終発表は来月の模様。

おそらく 25 日だと思いますが、第 22 回の受賞作が決まります。

その前に春の締切（5 月 1 日）もあるので、今はちょうど追い込みの時期だと思いますが、投稿される予定の皆様は頑張ってください。

こんにちは、らくだです。

第4回オーバーラップ大賞（2月締切）の1次発表がありました。

[【発表ページはこちら】](#)

（応募総数 189 本、1次通過 28 本、通過率 約 15 %）

通過者の皆様おめでとう！

1次落ちだった自分ドンマイ！

そうです。

実はこっそり激烈ワナビ戦を送っていました。

なお選評のコメントは、

「ワナビという言葉は印象が悪い」

「マイナスイメージなので使わない方がいい」

うーん……。

やっぱりそうかあ……。

自分自身はワナビという単語を、「夢に向かって頑張っている人達」という風に捉えているので、悪いイメージはないんですけど。

ただ一般的にはマイナスイメージが強い言葉ですし、それは自分もわかっているので、やはり使わない方が無難だったかなと思いました。

とはいえ後悔はありませんけどね！

無難なことばかりしていても仕方ないですし、どれだけ否定されて落ち込もうが、これからも自分の個性を全力でぶつけたいです。

こんにちは、らくだです。

先週 4 月 21 日（金）に開催された、「カクヨムユーザーミーティング Vol.4」の公式レポートが、カクヨムブログに掲載されました。

今回は 1 周年記念ということで、いつもの 2 倍以上のユーザーが会場へ集まって、おおいに盛り上がった様子です。

【カクヨムユーザーミーティングレポート】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kum4_report

<主な内容>

- ・ 第 1 部 トークイベント「本づくりの現場を語る！」
- ・ 第 2 部 ユーザー交流会
- ・ カクヨムサービス開始から 1 年間の振り返りと今後の予定について
- ・ カクヨムに関する質疑応答

特に第 1 部のレポートは、面白い作品づくりのコツを具体的に紹介する内容で、読んで勉強になりました。

載っているのはファンタジア文庫の例ですが、ラノベ全般に該当する項目も多いので、投稿者ならチェックして損はない内容です。

あと面白かったのはユーザー分布のグラフ。

ユーザーの男女比や年齢比がわかるので、カクヨムで連載する作者にとっては、非常に参考になるデータかもしれません。

ちなみにカクヨムミーティングは今後も開催されるとか。

あと新しいコンテストも複数あるようなので詳細発表が待ち遠しいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムでロボットフェスティバル、略して「KRF」の開催が決定しました。

これまでに実施されたコンテストとは違い、直接デビューに繋がる企画ではないようですが、要項を見た感じかなり熱が入っている模様。

詳細はリンク先をご覧ください。

受付開始は5月1日（月）からとなっています。

【集え、熱きロボット同志諸君！「KRFーカクヨムロボットフェスティバルー」開催決定！！】

- ・ 募集内容 ロボット小説
- ・ 文字数制限 特に規定なし
- ・ 応募可能点数 1人につき1作品
- ・ 受付期間 2017年5月1日（月）～7月30日（日）
- ・ 結果発表 2017年9月頃カクヨムサイト上で発表
- ・ 賞 特になし（キラリと光る作品は書籍化を検討する可能性あり）

また今回のロボットフェスティバルの選者、MF文庫J編集部イケモト氏のインタビューも、カクヨム公式ブログに掲載されました。

とにかく熱いです。

ロボット愛に溢れています。

【MF文庫Jのロボ好き編集イケモト氏が語り尽くす“ロボットの魅力”】

自分は残念ながらまったくの素人ですが、ロボット物は昔からファンがいる熱いジャンルですし、皆様チェックしてみてもいいのではないでしょうか。

こんにちは、らくだです。

もうすぐ4月も終わりですね。

そして明日からGWという方も多いでしょう。

自分は近場で過ごす予定ですが、旅行などで遠出される方は、是非とも楽しんでください。

さてさて。

コバルト短編の2016年度年間最優秀賞が発表されました。

選出された皆様はおめでとうございます！

【作品リスト】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2016/>

【選評】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2016-comment/>

何度も話題にしてますが、コバルト短編の選評は、座談会形式なのが魅力です。

同じ作品でも編集さんによって解釈が違ったり、好みがわかれたり、色々な見方があって面白いし参考になるな〜と。

あとは小説本文も一緒に公開されるので、自分の感想とプロの感想を比べることもできますし、それについても毎回勉強になっています。

とにかくまあそんなわけで、コバ短の発表は書き手としても読み手としても楽しめるので、今後も応援していきたいです。

コバルトでひきこもり小説の募集キター！！！！

というわけで。

ウェブコバルトの投稿企画にまさかのひきこもり小説賞が登場しました。

ふはははは！

ひきこもり度だったら我ながら自信があるぞ！

と思いつつ詳細を確認したところ……。

【秋杜フユのひきこもり小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/hikikomori_novel/

- ・ 募集内容 ひきこもりな「お題」に続く短編小説
- ・ 応募締切 2017年6月25日（日）23時59分
- ・ 規定枚数 400字詰原稿用紙30枚以内
- ・ 参加方法 投稿フォームからウェブ応募
- ・ 賞金 5万円& WebマガジンCobaltで公開

なんと……。

少女小説らしい「お題」があるんですね……。

（ガチでリアルなひきこもり作品を書こうと思ってた・汗）

いやでもお題も想像力が膨らむ設定ですし、この冒頭からガチなひきこもり小説を書くこともできなくはないし、他に見ない面白い企画ではないでしょうか。

ちなみにこのコンテスト、秋杜先生のひきこもりシリーズをフィーチャーした企画だそうですが、該当小説を未読でもまったく問題ないと応募要項に書いてあるので、ご興味を持たれた方は上記リンク先で詳細をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの投稿企画、「編集 F の擬人化小説賞」の結果と選評が、公式サイトに UP されました。

以下リンク。

受賞された作者様はおめでとうございます。

【編集 F の擬人化小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/personality_award_result/

擬人化作品と聞くと一般的には、「船や家電など擬人化された美少女をコレクションする」というイメージが強いですが、受賞作はまったく違う感じでした。

いやまあ女性向けレーベルなので当然ですが。

コバルトの入選作が美少女ハーレムだったらビックリです。

とにかく受賞作品は、擬人化というテーマに沿いつつも、渋い感じの人間ドラマに仕上がっていて、「こういう切り口もあるんだなー」と勉強になりました。

そして選評でもそこが評価されています。

やはり人間ドラマが入選のポイントだったみたいですね。

ちなみに発表ページにも書いてありますが、選評を読んだら完全にネタバレしてしまうので、純粹に作品を楽しむ場合は本文から読むのがオススメです。

とまあ、そんなこんなで。

昨日からひきこもり小説賞も始まりましたが、この先どんな投稿企画が登場するのか、自分も楽しみつつチェックしていきたいです。